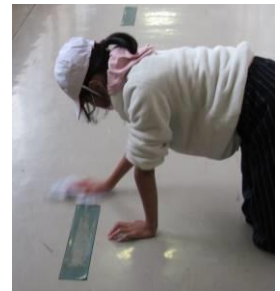




## そうじで心を育てるとは

学校の様子は、「八幡小学校ホームページ」でくわしく見ていただけます。「八幡小学校」で検索し、ぜひご覧ください。毎日更新中です!

今年の八幡小学校のおそうじのめあては、「だまってそうじ」です。いわゆる「無言清掃」です。学校が再開した6月に係から全校に向けて指導があり、取り組んできました。今年はおそうじを連学年で行う「連学年清掃」をしています。違う学年の人とそうじに取り組むことで、おそうじの状態が昨年までよりよくなりました。



10月の校長講話では、だまってそうじをすることで心が育つとはどういうことか、について連学年ごとに話をしました。そこでは、おしゃべりすることを「がまん」することで、人間が人間らしく生きていくための前頭前野を鍛えることができる、という内容を学年に応じて伝えました。

八幡小学校の今年のおそうじのめあては、「だまってそうじ」です。みなさん、できていますか？さて、さると人間の違いはどんなことでしょうか。考えてみましょう。動物園のサル山のさるたちは、好き勝手に暮らしています。えさを投げ入れれば、奪い合い、弱いものがえさを手にすれば、強いものが追いかけてまわし、奪い取ります。大騒ぎをしてけんかをします。それが、さるです。

では、さるにはできないけれど、人間にできることは何でしょうか。

- ・話せる ・勉強する ・箸が使える ・時計が読める ・字が書ける ・歌を歌う ・時間がわかる
- ・計算ができる ・料理 ・工作 ・おしゃべり ・集中する ・本を読む ・経済 ・助け合う ・夢を持つ
- ・考える ・けんかをしてはいけないと思う ・やさしくする (子どもたちから出た意見)

人間にしかできないことに「がまん」もあります。おそうじのときに、おしゃべりしたくてもがまんします。そのことについてお話しします。

みなさんのおでこの内側には、脳の中でも「前頭前野」とよばれる部分があります。ここは考えたり、ものを覚えたり、気持ちをコントロールしたり、集中したり、コミュニケーションしたりという、人間らしく生きていくための大切な部分です。ここには、たくさん人間らしく生きていくための細胞があります。この部分を鍛えることで、人間らしく生きていく心が育ちます。

前頭前野を鍛える、心を育てるって、どうしたらいいのでしょうか。それが「がまん」することなのです。それで八幡小学校では、おそうじの時間にみんなががまんをして、心を育てることにしたのです。

おそうじの時、友だちとおしゃべりをしたい・・・でもがまんします。すると前頭前野にある細胞と細胞がつながります。おそうじのやり方について何か言いたい・・・でもがまんします。またつながります。友だちを注意したい・・・でもがまんします。するとまたつながります。このように「がまん」することで細胞がどんどんつながって、複雑にからみあっていきます。複雑になるほど、前頭前野が鍛えられ、人間らしい心が育っていくのです。

そうじのグループで、自分たちのそうじについて話し合ってみましょう。そして、おしゃべりを「がまん」して、ひとつもおしゃべりをしないで、おそうじができたらどんな気持ちになったか、反省会で伝え合いましょう。

さて、最近の子どもたち、「がまん」ができないなあ、と感じませんか？でも、私たち大人もがまんしなくなっていると思います。便利で、なんでもすぐに手に入る世の中です。しかし、学校や社会の中で生きていくには、がまんしたり、ねばり強く取り組んだりすることは大切なことです。

ちょっとしたことで、くじけたり、キレたり、あきらめたりする人になってほしくないと思います。そのために、おそうじの時間を活用して「がまん」することを学んでいけるようにしています。

家庭ではどうでしょうか。小さなことでよいので、「がまん」することを親子で大切にし、取り組んでいってほしいと思います。



## 防災学習～自分で判断し、適切な行動ができる子～

八幡小学校では昨年度から、避難訓練などを見直し、命を守るために自分で判断し、適切な行動ができる人になれるような防災・防犯学習を進めています。昨年10月の台風19号では、千曲市も大きな被害を受けました。

そこで今年度は、土砂災害や水害について子どもたちと学びたいと考え、「長野県砂防ボランティア協会」の方に来ていただき、「赤牛先生と土砂災害を学ぼう」という内容で教えていただくことにしました。(3年生以上)

土石流、地すべり、がけ崩れなどの動画を見せてもらい、避難をすることの大切さについて教えていただきました。千曲川洪水ハザードマップでは、浸水の危険度が分かりました。3年生以上の児童1人に1冊ずつ冊子をいただきましたので、保護者の皆様も見いただいたと思います。

1・2年生は、学校の教室や違う場所で地震が起きたらどう行動すればよいか、考えました。写真を見たり、実際にその場所に行ったりして学びました。

防災については親子で、家庭で、話題にして確認していきましょう。

